

～漏水にすばやく対応するために～

今回の震災では県内外で甚大な被害がありましたが、滝沢村でも、水道に関しては一部断水があったほか、地震が原因と思われる漏水報告がありました。その多くは、検針員からの報告により発覚したもので、地震が原因と思われる漏水が起こってから月初めの検針日までの3週間もの間、出水していたということになり、使用水量が多量になる例がありました。

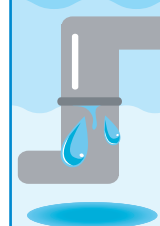
そこで、ここでは、今回の震災における漏水調査結果概要と皆さんにもできる漏水の確認方法をご紹介します。



漏水調査結果概要

地震に起因する漏水箇所件数	145件
漏水水量	約14,000,000リットル
1件あたりの漏水水量	約100,000リットル

主な漏水原因



今回の地震が原因と思われる漏水で主なものは、地震の揺れによる給水管や水抜栓の損傷によるものでした。また、そのほか特徴的なものとして、室外給湯器からの漏水がありました。

この漏水の直接的な原因は、地震の揺れではなく、地震直後の停電にあります。室外給湯器は冬の寒さでも管が凍らないよう電熱線を巻いていますが、地震直後は停電となったことで電熱線が機能しませんでした。さらに地震発生後の夜間が零下となったことで、室外給湯器の管が凍ってしまい、漏水につながったものと思われる。



「日及び時間ごとの使用水量のデータを取っているところ」

地上メーターの確認方法

大きい水漏れがわかります。

全く水を使っていないのに**赤い数字**(10リットル単位)が回っている場合は漏水の可能性があります。お出掛け前と後でチェックしてみましょう。



**漏水しているかな？
と思ったら**

水道の地上及び地下メーターは毎月、の検針で指針を確認するだけでなく、漏水調査などでも確認します。円滑な検針・漏水調査を行うためにもメーター付近には物を置かないようお願いいたします。

**漏水調査に
あたつてのお願い**